



持続可能な社会を目指す

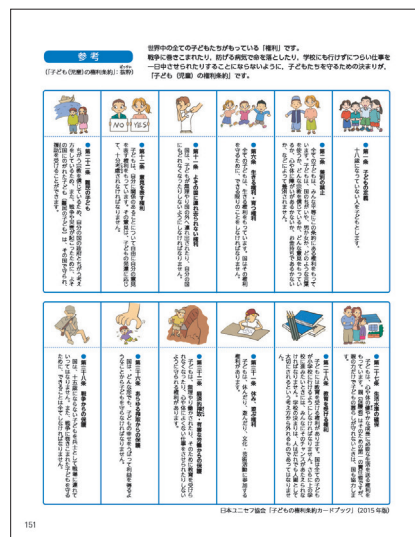
「新訂 新しい道徳」は、持続可能な社会の実現に向けたトピックを掲載しています。

人権・平和

3年生の教材では、難民問題や児童労働問題など、実際に起きているさまざまな出来事を、大きな写真で紹介。世界の子供たちの現実を知り、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。また、人権を考える資料として、「子ども（児童）の権利条約」の抜粋も掲載しています。



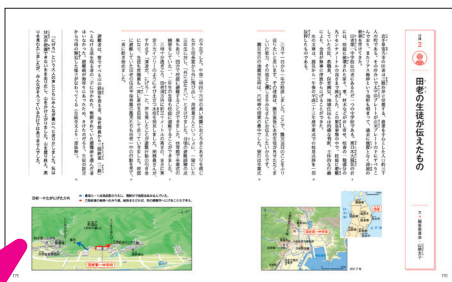
3年 p.144～147「その子の世界、私の世界」



3年 p.151 参考「子ども（児童）の権利条約」

防災・安全

防災や安全の重要性を、実際の出来事から考える教材をご用意しています。



2年 p.170～173「田老の生徒が伝えたもの」

田老一中生がくれた方向

- ➡：最短ルートは急斜面のうえに、雪解けて地面はぬかるんでいた。
- ➡：三陸鉄道の線路へ向かう道。線路をたどれば、別の避難所へにげることもできた。



環境・資源・エネルギー

自然愛護や公害、ごみ問題などを扱った教材から、自然環境について考えを広げることができます。



2年 p.108～112「冬の使者『マガリ』」



多様性の尊重

年齢、国籍、性別など、さまざまな多様性を尊重する教材をご用意しています。

2年 p.94 ~ 98

「注文をまちがえる料理店」

認知症のかたが店員としてホールで働く料理店「注文をまちがえる料理店」の実践から、さまざまな人たちがお互いに認め合い、理解していくために大切なことを考えます。



「注文をまちがえる料理店」は、認知症のかたが店員として働く料理店です。認知症のかたが店員として働くことで、認知症のかたに対する理解が深まり、認知症のかたに対する偏見が軽減されることを目指しています。

「注文をまちがえる料理店」のメニューとスタッフのコメント。

「注文をまちがえるなんて、変なレストランだな」
きっとあなたはそう思うでしょう。

私たちのホールで働く従業員は、みんな認知症の方です。ときどき注文をまちがえるかもしれないことを、どうかご承知ください。

その代わり、どのメニューもここでしか味わえない、特別においしいものをそろえました。

「こっちはおいしそうだし、まい、いいか」
そんなあなたの一言が聞けたら、そしてそのおぼろげな気分が、日本中に広がることを心から願っています。

16 おおらかな気持ちで



「間違いを受け入れ、いっしょに楽しむ」というお店のコンセプトに共感し、認知症のかたが働く飲食イベントを催す団体が、日本各地で増えています。

山岳民族の文化を守る

少数民族の文化を守り、世界に発信する山下彩香さんの活動から、持続可能な国際貢献の姿を見つめます。

22 世界の人々につながる

山岳民族の文化を守る

山岳民族の文化を守る活動は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献しています。山岳民族の文化を守ることで、山岳地域の持続可能な開発が実現し、山岳民族の生活が改善されることを目指しています。

1年 p.124 ~ 127



今度は私の番だ

佐藤真海さんが登場する教材の脚注では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて、差別や偏見のない社会を実現するために行った、選手たちの活動を紹介します。

19 たがいに支え合う社会

今度は私の番だ

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて、差別や偏見のない社会を実現するために、選手たちが行った活動を紹介します。

2年 p.114 ~ 117

●オリンピックと多様性

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、差別や偏見のない社会を実現するため、LGBT（多様な性的指向をもつ人や、心の性と体の性に不一致を感じる人などの総称）を表明した選手が大勢いた。二〇二〇年東京大会でも、基本コンセプトの一つとして、「世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする」と示された。